

## 魚道と淵による川ビオトープ整備事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 平成 16 年から川ビオトープづくり、遊歩道の整備などに取り組み、水生生物の生育環境の向上を図ってきた。平成 22 年は、既設の川ビオトープに続き、魚道と淵づくりによる川ビオトープを 170m 延長する。
- 水生生物の移動や、棲家を確保し、水生生物の生育環境を整備する。
- 小学校の総合学習等、良好な自然環境学習の場の拡張を図る。

### 事業内容

- 魚道整備（長さ 10.5m 最高 1.35m）  
自然石を生コンクリートで固め、1m 余りある河床の段差で魚の移動を妨げている箇所に、専門家の指導のもと、地域住民ボランティアとの協働により、階段状の魚道を設置した。（写真上・中）  
川沿いの道から魚道近くに下りられるよう、護岸にある既設の取っ手を利用する。
- 淵整備（下流域 170m 区間に 14 箇所）  
下流の土石による水溜を利用し、専門家の指導のもと、地域住民ボランティアとの協働により、多様な変化に富む淵を設置した。  
例）杭を間隔なく並べた淵（写真下）及び自然石を並べた淵



【 川の水のせき止め作業 】



【 魚道づくり 】



【 淵づくり 】

### 事業効果

- 工事中に子どもや地域の人が声を掛けてくれるなど、地域住民の交流、河川整備への関心の向上につながった。
- 小学校での理科の授業、総合的な学習での教材及び体験活動での利用が見込まれる。
- 通常の散策や各種イベントでの利用等、地域の元気づりに寄与している。
- 水生生物の生育環境の整備など、自然環境の保全が図られた。

### 工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- 川ビオトープを活用した各種イベントを実施し、地域の元気を創出する。
- 小中学校に学びの場としての利用促進を図る。
- 人手を加えることにより自然回復することの事例として、今後の維持管理に努める。

#### 【選定のポイント】

地域住民の協働により、環境保全、景観形成が図られている。また、小学校での教材としての利用、地域を拠点とした体験活動が期待でき、教育上の効果も高い。  
地域の他団体とも連携し、今後の活動の広がりが期待される。

<p>団体名 浦里とんぼの会（上田市） 連絡先 上田市浦野 49-10 TEL 0268-31-3705</p>	<p>事業タイプ ハード事業 事業費 1,458,775円 支援金額 968,000円</p>
--	---